

《講演（2025 年 11 月 5 日(水)）のご紹介》

講演テーマ

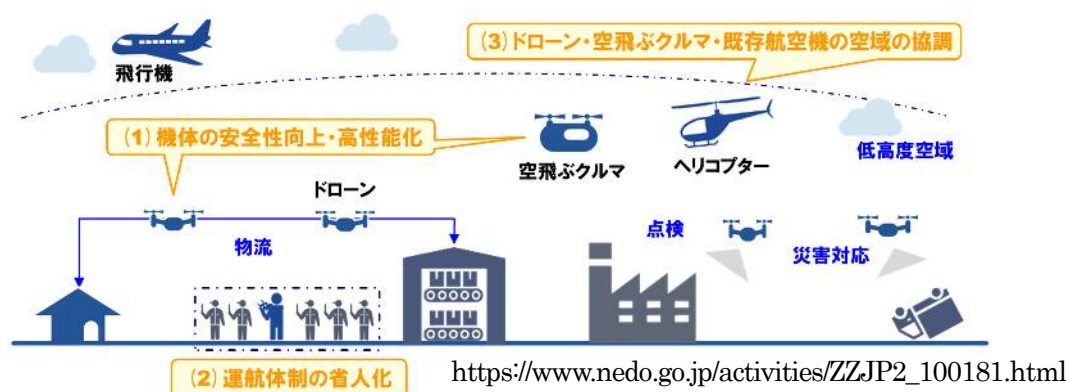
「日本の航空機開発の歴史と展望・課題 長野県・信州大学の次世代空モビリティに係る取り組み」



講師：信州大学 特任教授
次世代空モビリティ研究拠点

柳原 正明 氏

1890 年の二宮忠八のカラス型模型飛行器の飛行に始まる日本の航空機開発の歴史・将来展望と、MRJ(三菱スペースジェット)開発中止に見られる日本の課題についてお話しします。また、世界的に進みつつある次世代空モビリティ(空飛ぶクルマや次世代ドローン)の研究開発に関する長野県及び信州大学の取り組みをご紹介します。



次世代空モビリティの社会実装に向けた研究課題

<講師経歴>

1981年 京都大学大学院 航空工学専攻 修士課程 修了
同年 科学技術庁 航空宇宙技術研究所(NAL) 採用
2003年 組織統合により 独立行政法人 宇宙航空研究開発機構(JAXA)
2005年 JAXA 総合技術研究本部 飛行システム技術開発センター センター長
2007年 東京大学 博士(工学)
2011年 JAXA 名古屋空港飛行研究拠点 拠点長(兼務)
2014年 JAXA 航空本部 基盤技術統括
2016年 国立大学法人 信州大学 工学部 教授, JAXA 特任担当役
2021年 国立大学法人 信州大学 工学部 特任教授, JAXA 客員研究員

<研究分野>

航空機力学, 飛行実験, 飛行制御

<所属学会>

米国航空宇宙学会(AIAA), 日本航空宇宙学会(JSASS)

<現在の研究課題>

次世代空モビリティの設計・認証への数学モデル技術の活用

<受賞学術賞>

1995年 科学技術庁長官賞, 2012年 JAXAスペシャリスト認証, 2014年 日本航空宇宙学会 フェロー認定